

COMMUNICATION LETTER

博物館だより

2017.3 第 22 号

新潟市北区郷土博物館

〒950-3322

新潟市北区嘉山3452番地

TEL 025-386-1081

FAX 025-388-6290

museum.n@city.niigata.lg.jp



「阿賀北の大地と人々の暮らし」を常設展示のテーマに
新潟市北区郷土博物館グランドオープン！

モノ(展示資料)が語る人々の5千年のものがたり

16世紀頃のヨーロッパでは、古今東西の珍しい文物を集めて、自分だけの「博物の小宇宙」、いわば、遙かな時間と空間を閉じ込めた缶詰のような部屋を作ることが、王侯・貴族の間で盛んになりました。今日のような〈誰もが自由に観覧できる〉博物館は、実はこの「博物の小宇宙」という思想が母体となっています。

新潟市北区郷土博物館の小さな常設展示室にも、現在の北区における5千年の人間の歴史が凝縮されています。それを語るのには書物ではありません。無数の人々が、この地で繰り広げたものがたりを内に秘めたモノたちです。

古代人のたくましい創造力、激動の幕末に生きた人々の強い信念、近代社会の矛盾と闘った人々の情熱、やきもの王国をめざした起業家の夢、農具や漁具を作り改良を試みる知恵、葛塚織に織り出された地域の女性たちの生活とつましやかな美への憧れ……。モノは人間の生のあかしです。モノをみつめ、モノと対話しながら人々の生きた時代と暮らしを想像してみてください。そして、北区という小さな地域のものがたりから、人類の壮大な歴史へと思いを馳せてください。

さあ、博物の宇宙を旅しましょう。

(神田直子)

平成28年11月3日、 新潟市北区郷土博物館グランドオープン

新潟市北区郷土博物館の前身である豊栄町博物館は昭和43年、庁舎分館2階に開館し、昭和56年にこの地に移転新築し、常設展示のテーマを「福島潟と人々の暮らし」として「潟の自然や潟端の人々の暮らし」を紹介してきました。

その後、平成10年に郷土の書家 弦巻松蔭の作品を中心とした「書聖 弦巻松蔭の世界」に変更し、そしてこのたび、「阿賀北の大地と人々の暮らし」というテーマで新しく生まれ変わりました。平成27年5月に暫定オープンした後、常設展示を児童・生徒等がわかりやすく学べるように『学習ノート』を作成しました。さらに平成28年度は市民ガイド養成講座を開催し、市民ボランティアによる常設展示の解説を開始することができました。

北区の歴史・文化を北区民が共有し、北区の発展につなげられる博物館としての整備が終了したことから、市民が大勢参加する「博物館まつり」においてグランドオープン記念式典を開催しました。

新潟市北区郷土博物館長 頓所洋一



リニューアルした常設展示風景



グランドオープン記念式典（挨拶する飯野晋新潟市北区長）



市民ガイド誕生！頓所洋一館長の紹介後、デビューした市民ガイドの皆さん（写真奥）



式典の後で行われた市民ガイドによる展示解説

みる人とモノ(展示資料)をつなぐ案内人「市民ガイド」が誕生しました！



解説実習をする受講生たち（市民ガイド養成講座 9/24）



デビューを果たし、見学者に展示を説明する市民ガイドたち



博物館からの呼びかけに応えた16人が、養成講座で学び練習を重ね、11月3日、14人が展示を構成するテーマを9人で受け持って、テーマに沿った案内と解説を行いました。

「市民ガイド」は、デビューから3月末までに16回、延べ270人の見学者に解説を行いました。現在もスキルアップをめざして研修中です。

（活動についての詳細は、p.4からの「平成28年度のあゆみ」をご覧ください。）

学習ノートを用いた普及活動を開始しました！

皆さんが博物館や美術館を訪れるのは、会期を区切って開催する企画展示を見に行く時が多いと思いますが、常設展示こそ、実は各館が皆さんにご紹介したい内容です。新潟市北区郷土博物館であれば、北区の5千年の歴史や文化のことを知りたい誰でも、いつでも調べ、学べるようになっています。

当館では「阿賀北の大地と人々の暮らし」というテーマのもと、北区の考古・歴史・民俗・芸術の分野を紹介しています。広くはない常設展示室ですが、内容は盛りだくさんです。どのコーナーも開館以来、当館で収集し、保存している実物の資料を展示しています。資料をじっくりと眺めていると、写真では伝わらない、さまざまな情報や魅力を発信してくれます。

このたび、この常設展示をより分かりやすく、そして楽しんでいただくために『学習ノート』を作成しました。タイトルは少し堅苦しい感じですが、小中学生の教科書を参考に、「誰でも分かりやすく」を目標に作成しました。テーマごとの記述内容を厳選し、文字も大きく読みやすくしました。展示を見れば答えが分かるクイズも付いています。



子ども達に北区を知ってもらうきっかけとするため、学習ノートは区内の小中学校に配布しました。また、ふるさと学習で来館の際は、クイズの一部を活用しながら授業を進めています。

常設展示室に常備していますので、見学の際にご活用ください。学習ノートで北区の5千年の歴史や文化とその魅力を再発見してみませんか（B5判40ページ。当館にて1冊200円で頒布）。

（曾部珠世）

※北区役所だより（H28.8.21号）に掲載した「ふるさと自然と文化」欄に執筆したコラムをもとに編集しました。

1 企画展

(1) 常設展拡大企画

新潟市北区の勤皇の志士 遠藤七郎展

5/28～7/3 入館者 972 人

リニューアルした常設展示において、一つのテーマを掘り下げて展観する企画展の第 1 回目。「北区の明治維新」コーナーで展示した、遠藤七郎の人となりや新しい時代への思いを、27 年度の「特色ある区づくり事業」で制作した映像資料の公開とともに、制作に使用した史料や書画作品等の展示を通して紹介。



遠藤七郎展

(2) 第 33 回菱湖会書展

7/8～7/18 入館者 630 人

共催事業(主催:菱湖会・新潟市北区郷土博物館)

北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループ展。会員 18 人の作品 27 点を発表。



市民グループ北宝隊の研修会での解説(遠藤七郎展)

(3) 第 19 回松蔭賞書道展

7/30～8/28 入館者 1,051 人

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催した。入賞作品 239 点を展示。

- 対象:新潟市内の小学 3 年生～中学生
- 審査員:小黒 五稜氏(新潟県書道協会顧問)
岡村 鉄琴氏(新潟大学教育学部教授)
伊豆名皓美(当館嘱託職員(書))

- 参加校
 - ・北区内 … 小学校 13 校・中学校 5 校
 - ・市内他区… 小学校 2 校・中学校 3 校
 - ・書道教室… 8 校
 - ・その他 … 個人出品 5 人

○出品点数(点)

小 3	552	中 1	293
小 4	535	中 2	101
小 5	659	中 3	95
小 6	529	教室・個人	147
合 計	2,911		

- 入賞者数・松蔭賞 7 人(各学年 1 人)
239 名・優秀賞 21 人(各学年 3 人)
・特 選 70 人(各学年 10 人)
・佳 作 141 人(各学年 20 人程度)

○松蔭賞受賞者

- 【小 3 の部】五十嵐叶愛(濁川小学校)
- 【小 4 の部】高桑 羽衣(濁川小学校)
- 【小 5 の部】大桃 雫(早通南小学校)



第 33 回菱湖会書展



松蔭賞書道展 表彰式 審査講評(審査員代表:岡村鉄琴氏)

- 【小 6 の部】篠澤 元(葛塚東小学校)
- 【中 1 の部】品田 華子(岡方中学校)
- 【中 2 の部】石井 崇敬(葛塚中学校)
- 【中 3 の部】岩崎 裕美(五十嵐中学校)

(4) 第 10 回新潟市北区こども科学展

9/17～9/25 入館者 730 人

夏休みに、子どもたちが取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示した。最優秀賞 4 人、優秀賞 11 人を選出。

- 対象:北区の小・中学生
- 審査員:佐藤 文俊氏(早通中学校長)
小林 和男氏(早通南小学校長)
井村 賢治(北区教育支援センター所長)
清水 斎(北区地域課長)
頓所 洋一(当館館長)

- 参加校 区内小学校 11 校・中学校 1 校
- 出品点数(出品者数) … 175 点(173 人)
- 【模型の部】 … 82 点(80 人)
- 【標本の部】 … 16 点(16 人)
- 【発明工夫の部】 … 20 点(20 人)
- 【自然科学写真の部】 … 57 点(57 人)

○最優秀賞受賞者(4 人)

- 【模型の部】井村虎太郎・二瓶 爽(松浜小 6 年)
- 【標本の部】神田 美岬(南浜小 3 年)
- 【自然科学写真の部】小川健太郎(葛塚小 6 年)

○優秀賞受賞者(11 人)

- 【模型の部】曾我 篤哉(葛塚東小 1 年)
本間 菜結(葛塚東小 3 年)
熊倉 悠真(木崎小 5 年)
- 【標本の部】上田敏士朗(早通南小 1 年)
北村 拓途(太夫浜小 5 年)
- 【発明工夫の部】米田 凌(葛塚小 6 年)

【自然科学写真の部】

- 小林永太郎(早通南小 1 年)
- 中嶋 優太(木崎小 3 年)
- 青木 亨介(葛塚東小 6 年)
- 中川 愛音(葛塚東小 6 年)
- 山田 柚奈(松浜小 6 年)

(5) 常設展拡大企画

昭和のくらし展—70 年前の農家の冬の仕事—

11/12～12/18 入館者 869 人

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展観する企画展の第 2 回目。むかしの農家の冬の仕事であるワラ仕事や機織りを通して、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介。



第 19 回松蔭賞書道展



第 10 回新潟市北区こども科学展



昭和のくらし展



昭和のくらし展 手織り機の実演と体験

○会期中の催し

- ・手織り機の実演と体験
11/19・12/10 参加者 12 人
講師：葛塚縞手織りの会
- ・ワラでなべしき作り体験 11/23 参加者 21 人
講師：早川ミハル氏、成澤 清子氏
- ・葛塚縞の農作業を着てみよう（随時）

(6) 第 10 回新潟市北区ジュニア絵画展

H29.1/4～1/22 入館者 625 人

ふるさとの自然や生活を描いた作品を募集。477 点の応募のうち、入賞作品 97 点を展示。

- 対 象：北区の小・中学生
- 審査員：北上あつ子氏（こども造形教育指導者）
本間 公司氏（早通中学校 美術教諭）
月岡 徳恵氏（日本水彩画会会員、
絵画グループ求美会長）
高野 節子氏（絵画グループ求美会員）
神田 直子（当館学芸員（美術））
- 参加校：北区の小学校 12 校・中学校 2 校
- 出品点数（点）

小 1・2 年生の部	219	小 5・6 年生の部	199
小 3・4 年生の部	57	中学生の部	2
合 計		477	

○大賞受賞者（各部門 1 人）

- 【1・2 年生の部】 近 翔真（葛塚小 2 年）
- 【3・4 年生の部】 近藤 元樹（松浜小 3 年）
- 【5・6 年生の部】 恩田 彩音（豊栄南小 5 年）
- 【中学生の部】 池上 夏汀（松浜中 2 年）

(7) 書の新時代を切り拓いた芸術家

上田桑鳩展—新潟に伝えた革新の精神—

2/11～3/12 入館者 1,117 人

弦巻松蔭とその弟子たちに多大な影響を与えた師上田桑鳩の革新的な芸術思想と作品を、所藏品と新潟に残された作品を通して展望。

○展覧会鑑賞ガイド

- 講師：伊豆名皓美 2/26 参加者 38 人
3/5 参加者 38 人
- 神田 直子 3/12 参加者 36 人

2 講座・教室など

(1) こども博物館

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。



昭和の暮らし展 ワラでなべしき作り体験



ジュニア絵画展 表彰式 審査講評（審査員代表：北上あつ子氏）



上田桑鳩展 展覧会 鑑賞ガイド（3/5、臨書作品を中心に）



上田桑鳩展 展覧会鑑賞ガイド（3/12）

①古代人のアクセサリー 勾玉を作ろう

6/25 参加者 9 人

- 講師：曾部 珠世（当館嘱託職員（歴史））
頓所 洋一

②古代の土器を作ってみよう！火起こしにもチャレンジ

8/9 参加者 13 人

- 会場：新潟市文化財センター
- 講師：新潟市文化財センター職員

③はくぶつかん体験コーナー

夏休み中の水曜（7/27、8/3、8/10、8/17、8/24）

参加者延べ 140 人

- ・北区自治協議会提案「夏休み子ども公共施設利用体験事業」への協力
- ・水書き習字、土器パズル、北区パズル（北区のお宝マップを活用）、北区クイズ（『学習ノート』を活用）

- ボランティア協力：北宝隊

④石でハンコ作り 11/26PM 参加者 6 人

- 対象：小学 4 年生～中学生
- 講師：伊豆名皓美

⑤ワラでなべしき作り 12/3 参加者 1 人

- 対象：小学 4 年生～中学生
- 講師：早川ミハル氏、成澤 清子氏

⑥むかしのあそび 3/24 参加者 8 人

- 会場：豊栄児童センター
- 対象：豊栄児童センター利用の小・中学生
- 講師：頓所 洋一

(2) 夏休み手織り体験教室

7/23、8/6 参加者 13 人

かつて葛塚でさかんに生産されていた木綿織物「葛塚縞」についてや、葛塚縞手織りの会の活動を紹介するとともに、会場の横井の丘ふるさと資料館の展示等も広く紹介。

- 対象：中学生以下
- 講師：葛塚縞手織りの会

(3) 市民ガイド養成講座（特色ある区づくり事業）

9/3、10、17、24 参加者 16 人

常設展示ボランティアガイドの養成。一般市民を対象に募集。テキストは『阿賀北の大地と人々の暮らし学習ノート』を使用。3 回以上の参加で市民ガイドに認定（14 人を認定）。

- 講師：川上 欣一氏（新潟市歴史博物館ボランティアガイド）

中村 里那氏（新潟市歴史博物館学芸員）



こども博物館「勾玉を作ろう」



はくぶつかん体験コーナー（北区クイズ）



はくぶつかん体験コーナー（水書き習字）



こども博物館「石でハンコ作り」

宮崎 芳春氏（当館前館長）
曾部 珠世、神田 直子

(4) 「新潟市文化財センター企画展 2 北区の古墳時代」見学バスツアー

10/8 参加者 8 人

北区の歴史・文化への関心を高めてもらうため、新潟市文化財センターが開催した企画展「北区の古墳時代」を見学し、あわせて正尺遺跡など区内の 10 遺跡等をバスで見学。

○講師：相田 泰臣氏（新潟市文化財センター主査）
宮崎 芳春氏

(5) 市民ガイド研修（特色ある区づくり事業）

○対象：市民ガイド（常設展示ガイド）14 人
○プログラム

①デビュー前研修 10/23
新潟市歴史博物館・旧齋藤家別邸のボランティアガイドの視察

②スキルアップ研修 1 H29.2/19
芸術作品を「みる」ー上田桑鳩の作品
講師：神田 直子

③スキルアップ研修 2 3/25
江南区郷土資料館のボランティアガイドの視察

(6) 第 26 回博物館まつり

11/2・3 参加者延べ 600 人

見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーの設置や、郷土芸能発表会を通して伝統文化を学ぶ。

- 催し物
- ・チャリティー骨董市 (11/2・3)
主催：チャリティー骨董市実行委員会
 - ・実演・体験・チャレンジコーナー (11/3)
(消しゴムハンコ・竹トンボ作り・ワラなべしき作り、葛塚縞手織りの実演と体験)
 - ・超大筆パフォーマンス (11/3)
揮毫：小黒 五稜氏（書家）
 - ・パッチワーク小物の販売
 - ・郷土芸能発表会
 - ・お楽しみ抽選会

○実演・体験コーナー協力者及び団体（敬称略）
伊藤喜代子、大月優子、倉島百合子、佐藤則子、新保晃司、高橋祥樹、竹見裕大、月岡徳恵、成澤清子、橋本弘、早川ミハル、葛塚縞手織りの会、菱湖会



第 26 回博物館まつり「超大筆パフォーマンス」



第 26 回博物館まつり「郷土芸能発表会」（御山伊佐弥神楽）



新崎伊佐弥神楽



ふるさと学習（豊栄南小学校 3・4 年生見学）

○郷土芸能発表会出演団体（出演順）

- ・松浜太鼓保存会
- ・御山伊佐弥神楽保存会
- ・内島見神楽保存会
- ・新崎甚句保存会
- ・新崎伊佐弥神楽保存会
- ・長場神楽保存会
- ・豊栄郷土民謡保存会
- ・大瀬柳神楽保存会
- ・松浜盆踊り太鼓保存会
- ・他門神楽保存会

(7) ハンコで遊ぼう！

11/26AM 参加者 11 人

石印材に名前や干支などを彫りオリジナル作品を制作。

○対象：一般（小学 4 年生以上）
○講師：伊豆名皓美

(8) ふるさと学習

学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や展示見学の利用を図る（写真 8 ページ）。

① 学校における博物館活用のための常設展示解説会

12/1 参加者 22 人

○対象：北区の小中学校教職員・地域教育コーディネーター

② 学校教育としての見学

○岡方中学校 1 年生（総合学習「岡方探訪」）

講師：曾部 珠世
7/6 参加者 11 人

○葛塚東小学校 3 年生（昔の道具とくらし）

講師：曾部 珠世
12/2、12/8、12/13 参加者 4 クラス 117 人

○豊栄南小学校 3 年生・4 年生

講師：曾部 珠世、市民ガイド 1 人
12/16 参加者 28 人

○木崎小学校 3 年生

講師：市民ガイド 5 人
H29.1/17 参加者 2 クラス 64 人

③ 市民ガイド（団体および個人への案内）

11/3～3/16 までの間の延べ 19 回
見学者延べ 270 人

(9) 講師派遣

① 校内事業「校内書き初め大会」H29.1/13

○対象：南浜中学校 1・2 年生 68 人
○講師：伊豆名皓美

② 出前授業「昔のくらし・昔のあそび」1/24

（新潟市文化財センター出前授業への協力）
○対象：早通南小学校 3 年生 120 人
○講師：頓所 洋一

3 博物館実習、体験学習等受け入れ

(1) 博物館学芸員養成課程履修の実習生受け入れ

桜美林大学 3 年生 1 人 8/27～9/3

(2) 中学校職場体験学習

光晴中学校 2 年生 2 人 7/5～7/8

(3) 高校生インターンシップ

県立豊栄高等学校 2 年生 2 人 7/27～7/29

4 北区文化財保護事業

(1) 歴史、民俗資料等 整理事業

○収蔵歴史資料（古文書・行政文書）の再整理。
延べ 19 日

○北区古文書解読研修会等によるボランティア
歴史資料の中性紙封筒への入れ替え作業、及び
郷土資料収蔵庫の民俗資料整理作業。

(2) 新潟市北区内郷土芸能保存団体情報交換会の開催 8/19

○参加者：各団体代表（13 団体）

(3) 公開・活用

- 文化財説明板修繕
・部分修繕 12 か所（浜サンベほか）
 - 郷土芸能発表会 11/3（木・祝）
・「博物館まつり」郷土芸能発表会（10 団体・再掲）
・「キテ・ミテ・キタク」郷土芸能公演（5 団体）
- 会場：JRA 新潟競馬場
出演団体（出演順）
木崎三柱会、竹の通り神楽連、正尺神楽保存会、高森神楽保存会、新崎樽ばやし連

(4) 保護事業

○収蔵資料くん蒸（H29.2 月）

5 郷土資料収蔵庫整理事業 通年

- 郷土資料収蔵庫に移動した民俗資料の整理・配架。
- 収蔵資料のくん蒸（再掲）

1 郷土芸能伝承支援事業（特色ある区づくり事業）

通年

北区に伝わる神楽等を地域の人に知ってもらうための発表の場と、後継者として期待される子どもたちへの伝承に向けた取り組みを支援する。

2 企画展、常設展拡大企画

(1) 「羽越水害復興 50 年記念事業」巡回パネル展 一併催 常設展拡大企画 北区の水害—

5/27 (土) ～7/1 (土)

・共催事業（主催：羽越水害復興 50 年記念事業実行委員会・新潟市北区郷土博物館）

新潟県提供の巡回用写真資料(パネル)の展示の他に、博物館資料の展示コーナーを併設。

(2) 第 34 回菱湖会書展

7/13 (木) ～7/17 (月・祝)

・共催事業（主催：菱湖会・新潟市北区郷土博物館）
北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループ「菱湖会」との共催展。

(3) 第 20 回松蔭賞書道展

7/29 (土) ～8/27 (日)

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催される公募書道展、入賞作品 238 点を展示。

・対象：新潟市内の小学 3 年生～中学生
・作品募集締切 7/5 (水)

(4) 第 11 回新潟市北区こども科学展

9/16 (土) ～9/24 (日)

夏休みに北区の子どもたちが取り組んだ創意と工夫に富んだ作品を発表・展示。

・対象：北区内の小・中学生
・部門：模型・発明工夫・標本・自然科学写真

(5) 常設展拡大企画「昭和のくらし展 2」

11/25 (土) ～H30.2/12 (月・祝)

今では使われなくなった道具から北区の昔の様子を紹介する企画の第 2 回展。体験を中心とした「こども博物館」を併設。

(6) 常設展拡大企画「美術のなかの自然」

3/17 (土) ～5/6 (日)

博物館が所蔵する美術作品から、表現された「自然」をテーマとして構成。

3 講座・教室など

(1) 歴史探訪講座

6 月、10 月

常設展示の各コーナーをテーマに講座を開催する。
・対象：一般

(2) こども博物館

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。

①はくぶつかん体験コーナー

北区自治協議会提案「夏休み子ども公共施設利用体験事業」への協力

②「昭和のくらし展 2」期間中に開設

(3) 第 27 回博物館まつり 11/3(金・祝)・4(土)

見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーの設置や、郷土芸能発表会を通して伝統文化を学ぶ。
(チャリティー骨董市、葛塚縞手織り実演、ワラ細工・竹細工体験、郷土芸能発表会など)

(4) ハンコで遊ぼう！

石印材に名前や干支などを彫りオリジナル作品を制作。
・対象：一般（小学 4 年生以上）

(5) 市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

(6) ふるさと学習

学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や展示見学の利用を図る。

(7) 博物館学芸員課程履修の実習生受け入れ

8 月～9 月

(8) 横井の丘ふるさと資料館の管理

通年

(9) 郷土資料収蔵庫の管理運営

通年

・環境整備・虫の侵入防止・空調管理
・民俗資料整理作業（台帳化、くん蒸、配架）

(10) 学校・研究者など情報提供

(11) 刊行物の販売

4 北区文化財保護事業

- 調査
 - ・歴史・民俗・写真資料など整理作業
- 公開・活用
 - ・文化財説明板修理
 - ・郷土芸能発表会
- 保護育成
 - ・郷土芸能伝承支援事業（再掲）
 - ・収蔵資料くん蒸
 - ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」保護等

平成 28 年度入館状況

月別	北区郷土博物館 入館者数 (人)	横井の丘ふるさと 資料館 入館者数 (人)	主 な 行 事
4 月	434	19	
5 月	547	18	常設展拡大企画新潟市北区の勤皇の志士 遠藤七郎展 5/28 ～ 7/3
6 月	743	21	常設展拡大企画新潟市北区の勤皇の志士 遠藤七郎展 5/28 ～ 7/3 常設展拡大企画新潟市北区の勤皇の志士 遠藤七郎展 5/28 ～ 7/3 (972 人)
7 月	1,231	46	第 33 回菱湖会書展 7/8 ～ 7/18 (630 人) 第 19 回松蔭賞書道展 7/30 ～ 8/28
8 月	882	26	第 19 回松蔭賞書道展 7/30 ～ 8/28 (1,051 人)
9 月	982	15	第 10 回新潟市北区こども科学展 9/17 ～ 9/25 (730 人)
10 月	0	28	
11 月	1,201	1	第 26 回博物館まつり 11/2・3 (のべ 600 人) 常設展拡大企画昭和のくらし展 11/12 ～ 12/18 ハンコで遊ぼう！ 11/26 (11 人)
12 月	582	2	常設展拡大企画昭和のくらし展 11/12 ～ 12/18 (869 人)
1 月	769	1	第 10 回新潟市北区ジュニア絵画展 1/4 ～ 1/22 (625 人)
2 月	656	1	書の新時代を切り拓いた芸術家 上田桑鳩展—新潟に伝えた革新の精神— 2/11 ～ 3/12
3 月	875	1	書の新時代を切り拓いた芸術家 上田桑鳩展—新潟に伝えた革新の精神— 2/11 ～ 3/12 (1,117 人)
合 計	8,902	179	

12/28 ～ 1/3 は年末年始のため休館。新潟市北区郷土博物館は、排煙窓修繕工事のため 9/29 ～ 10/31 まで臨時休館。

寄贈資料紹介

平成 28 年度、次の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

【歴史資料】

仲村 寅男様 (北区) ……真嶋桂次郎揮毫 角小皿 24 枚、真嶋中太郎画 油絵 (マクリ) 6 点
風間 昇 様 (北区) ……明治 9 年嘉山村地引絵図
真田 亨 様 (北区) ……しきしまのみち会編『明治天皇御製と軍人勅諭』、徳富猪一郎 (蘇峰) 著『国民小訓』計 2 点
杉山 巖 様 (東京都) ……上土地亀小学校・下土地亀小学校関係文書 5 点

【民俗資料】

小林 恵 様 (北区) ……カイボウ 1 点
佐藤 友子様 (江南区) ……葛塚縞反物一反
阿部 紀夫様 (北区) ……上土地亀小学校閉校記念風呂敷
米田 正作様 (北区) ……葛塚縞反物一反
佐野 實 様 (北区) ……氷冷蔵庫 1 点

【美術・書資料】

瀧澤 昇一様 (北区) ……阿部半雅「山水図」2 点
田沼 幸一様 (北区) ……遠藤七郎「山水図」など 2 点
菅又 淑子様 (中央区) ……弦巻松蔭「頼山陽詩」、「良寛詩」計 2 点
弦巻 康子様 (神奈川県) ……上田桑鳩「建寧」、弦巻松蔭「円満」計 2 点

【図書】

新発田郷土研究会様 (新発田市) ……新発田郷土研究会編「新発田郷土誌 第 44 号」
阿部 紀夫様 (北区) ……新潟県解放運動戦士の碑建設実行委員会編「望海の灯」、新潟県民生部援護課編「新潟県終戦処理の記録」など計 4 冊
加藤 僖一様 (中央区) ……加藤僖一著「加藤僖一の 80 年—良寛研究第 19 集—」、新潟大学書道教育学会編「平成 29 年新大全国書初大会」計 2 冊
野中 浩俊様 (西区) ……神林恒道・萱のり子・角田勝久編「東アジアにおける〈書の美学〉の伝統と変容」、三木市教育委員会編「上田桑鳩」など計 3 冊
小川 澄 様 (北区) ……小川竹二著・小柳啓作編「わが家の昭和史」「わが五行詩」計 2 冊
関 雅之様 (新発田市) ……関雅之著「上越地方の古代祭祀遺跡について—古墳時代の石製模造品祭祀具の出土例—」「村上市滝ノ前遺跡の弥生後期の竪穴住居跡と出土土器」計 2 冊
奎星会 様 (東京都) ……奎星会編「奎星会創立 75 周年記念出版 松翁 松居遊見叟碑稿」
岡村 浩 様 (西蒲区) ……越佐文人研究会編「越佐文人研究第 19 号」
高橋 剛 様 (北区) ……豊栄短歌会編「ふきのとう 30 周年記念号」
村山 幹夫様 (東区) ……大形ちいき楽会編「大形のむかし 口碑・伝説編」
河合 清 様 (北区) ……加藤僖一著「加藤僖一写真集 新潟の風貌—いがたを代表する 100 人—」

【映像資料】

加藤 功 様 (西区) ……DVD「新潟市の潟を鳥の眼で訪ねる旅」2 点、DVD「地域の宝『内沼潟』と映像」1 点、DVD「松浜の池」1 点、計 4 点

【寄贈のお願い】

当館では、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。

平成28年度 新収蔵書作品紹介

当館では、市民の芸術文化振興を図るため、新潟市北区にゆかりの深い作家の作品を収蔵・公開しています。今年度は、新潟市内外の所蔵家からのご寄贈により4点の書作品を収蔵しましたので紹介します。

【書作品】

上田桑鳩 (1899—1968)

「建寧」 墨・紙、34.3×69.5cm、額装

弦巻松蔭 (1906—1995)

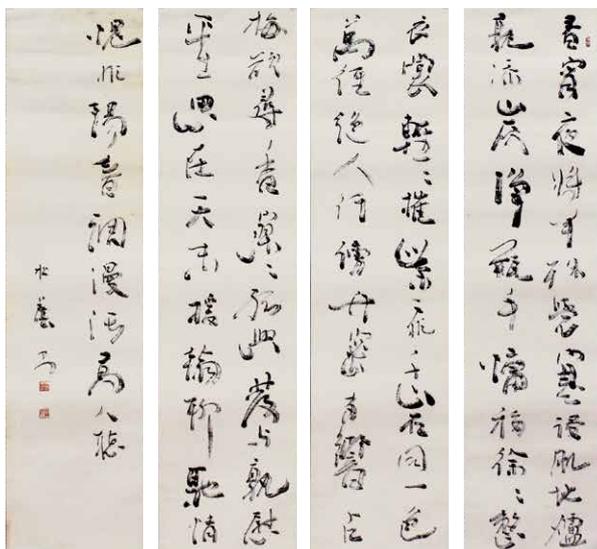
「頼山陽詩」 1934年、墨・紙、137×43cm

・1936年から1945年まで在京して上田桑鳩のもとで学んだ弦巻松蔭が、上京前、葛塚地域の書道研究会「入木会」主催の入木会展に出品した作品と考えられます。葛塚で書学に励んでいた当時の貴重な資料です。

「良寛詩」 1954-56年頃、墨・紙、135.5×34cm×4幅 (図版)

・弦巻松蔭が日展に出品していた時期(1953-57)の作品と考えられます。日展出品作品は、松蔭自身が後年、処分したと言われているので、この時期の作風を留めた作品は、現時点でこの1点だけしか見つかっていません。

「円満」 墨・紙、96.0×114.5cm、衝立
(形状寸法 144.5×168.2×47.8cm)



展覧会報告

上田桑鳩展

書の新時代を切り拓いた芸術家



上田桑鳩(1899-1968、兵庫県生まれ)は、昭和初期から戦後の復興期にかけての激動の時代のさなかで、漢字文化圏に固有の「書」を、「芸術」という世界の舞台に押し上げることに尽力した書家であり、思想家です。

桑鳩は、1927(昭和2)年、28歳で上京して二松學舎で古典を学んだ後、書法の近代化を進める比田井天来に入門します。技術を磨き、研究を深めた桑鳩は、書表現のさらなる革新を志し、1933(昭和8)年、西洋の近代芸術論を援用して、書は「芸術」、つまり一人の人間(精神)による創造的な営みであることを宣言しました。

戦後の自由な時勢のなかで、桑鳩が実践したのは「文字(言葉)を書く」ことを「書」の本質と見きわめ、それを前提として、「書とはなにか」を探求することでした。「何という字を書くか」ではなく、「何を表現するのか」、「作品は何を標示するのか」。こうした問いに対する桑鳩自身の解答を、自らの作品によって提示したのです。桑鳩は、旺盛な制作活動と並行して、雑誌『書之美』の活動、「奎星会」を母体とした全国公募展開催など、新しい時代の書芸術の振興と普及のために全国を奔走します。桑鳩にとって新潟は、帰郷した門弟弦巻松蔭の存在により、主要な拠点の一つとなりました。

この展覧会は、当館所蔵品を含め、新潟に伝わる作品を手がかりに、書表現の新たな可能性を探求した上田桑鳩の芸術と思想を浮き彫りにする取り組みとして企画し、開催しました。

(神田直子)



出品作品

上田桑鳩 書27点、絵画4点、
臨書6点
弦巻松蔭 書4点

展覧会図録

図版42点 30頁
論考、年表、目録等 モノクロ 26頁

論考執筆

野中吟雪氏「上田桑鳩の仕事」
(新潟大学名誉教授・
岐阜女子大学大学院教授・書家)
神田直子
「上田桑鳩の思想と芸術」
伊豆名皓美
「上田桑鳩の臨書論の実践と啓蒙」

企画担当

神田直子・伊豆名皓美